

acceptance criteria：受領標準

成果物（deliverable）がユーザーや顧客、その他の認定された存在に対して、安全に受領されるための標準。（「deliverable 配送品」も参照のこと）

acceptance testing：受領テスト

成果物が、ユーザーや顧客、その他の認定された存在にとって、受領可能なものであるかどうかを決定する為に行われる公式テスト。（「unit testing ユニットテスト」も参照のこと）

achievement profile：達成特性

プロセス領域とそれに一致する能力レベルのリストであり、個々のプロセス領域においての組織の進捗と、到達した能力レベルを表している。（「capacity level profile 能力レベル特性」と「target profile 小目標特性」、「target staging 多段化小目標」も参照のこと）

acquirer：取得者

供給者から製品やサービスを受け取る利害関係者。（「stakeholder 利害関係者」も参照のこと）

acquisition：取得

供給者の同意を得て、製品やサービスを入手するプロセス。（「supplier agreement 供給者同意」も参照のこと）

acquisition strategy：取得戦略

供給元や取得手法、要求仕様の種類、契約の種類、関連する取得リスクといった事を考慮した、製品やサービスの取得を行うための特定のアプローチ。

addition：付加物

個々のユーザーにとって興味深い情報を含む、明確に印付けられたモデルコンポーネント。

CMMI モデルでは、同じ名前を持つ全ての付加物は、オプションとして 1 つのグループにまとめて使用することが可能である。サービス用 CMMI では、サービスシステム開発 (Service System Development SSD) プロセス領域は付加物である。

allocated requirement : 割当要求 ?

上層の要求の全てもしくは一部を下層の構造要素 (architectural element) やデザインコンポーネントに落とし込みした結果生成された要求。

より一般的に説明すると、要求は、製品やサービスが要求を達成するために何が最も有効かということに依存しつつ、人や消耗品 (consumables)、成果利益 (delivery increments)、構造物 (architecture) といった論理的もしくは物理的コンポーネントへと、割り当てられることも可能である。(?)

appraisal : 査定

専門の訓練されたチームによって、少なくとも強みと弱みを判別する基礎として評価参照モデルを使用しつつ、1 つ以上のプロセスを評価すること。

この用語は、CMMI Product Suite では通常の単語とは異なった意味を持っている。

appraisal findings : 査定発見物

査定の範囲内でのプロセス改善における最も重要な論点や問題、機会の識別を行う、査定の結果得られた物。

appraisal participants : 査定参加者

査定の間、情報提供を行う組織的集団のメンバー。

appraisal rating : 査定格付

以下の物に対する査定チームによる格付：

- (a) CMMI 大目標もしくはプロセス領域
- (b) プロセス領域の能力レベル
- (c) 組織的集団の成熟レベル

この用語は、SCAMPI MDD 等の CMMI 査定素材で使用される。格付けは、適用された査定手法に沿って定義された格付けプロセスを規定することによって決定される。

appraisal reference model：査定参照モデル

査定チームが、実行されたプロセス活動と相互関係を持たせた CMMI モデル。
この用語は SCAMPI MDD 等の CMMI 査定素材で使用されている。

appraisal scope：査定範囲

調査されるプロセスが実行されている組織的範囲と CMMI モデル範囲を含んでいる、査定の境界を定義したもの。
この用語は SCAMPI MDD 等の CMMI 査定素材で使用されている。

architecture：製品構成

製品（product）について論じる（reason）為に必要な構成（structure）のセット。
こうした構成は、要素や要素間の関係、そして要素と関係の特性によって構成されている。
サービスという文脈では、製品構成はサービスシステムに適応されたものが多い。
機能性は製品の一面しか表していないことに注意。応答性や信頼性、安全性といった品質属性もまた、論じる為に重要である。構成は、製品構成の異なる部分を浮かび上がらせるための手段となっている。（「functional architecture 製品機能構成」も参照のこと）

audit：監査

ある特定の基準（要求など）を基にした、単体もしくは複数の作業成果物の客観的調査。
（「objectively evaluate 客観的評価」も参照のこと）
この用語は、CMMI において、設定監査（configuration audits）やプロセス適合性監査（process compliance audits）も含めた、幾つかのやり方で使用されている。

baseline：承認基準

予め批評（review）、承認（agree on）され、これから行われる開発の基準（basis）となった仕様書や作業成果物のセットであり、この基準は変更管理手続によってしか変更できない。
（「configuration baseline 設定承認基準」と「product baseline 成果基準物」も参照のこと）

base measure：基準尺度

属性と、その属性を数値化する手法の見地から定義された尺度。（「derived measure 関数尺度」も参照のこと）

基準尺度は機能的に他の尺度から独立している。

bidirectional traceability：双方向追跡可能性

2 つ以上の論理実体間にある関連 (association) であり、別の方向からも識別可能なもの。

（例えば、ある実体へというものと、ある実体からというもの）

（「requirements traceability 要求追跡可能性」と「traceability 追跡可能性」も参照のこと）

business objectives：ビジネス中目標

（「organization's business objectives」を参照）

capability level：能力レベル

個々のプロセス領域でのプロセス改善の達成。（「generic goal 一般的大目標」、「specific goal 具体的大目標」、「maturity level 熟成レベル」、「process area プロセス領域」も参照のこと）

能力レベルは、あるプロセス領域に対する一般的大目標と具体的大目標によって定義されている。

448

capability level profile：能力レベル特性

プロセス領域と、それに対応する能力レベルのリスト。（「achievement profile 達成促成」、「target profile 小目標特性」、「target staging 多段化小目標」も参照のこと）

能力レベル特性は、組織のプロセス領域ごとの進捗とその際の達成能力レベルを表している場合には「達成特性」になることがある。またプロセス改善の為の中目標を表す場合には「小目標特性」になることがある。

configuration audit：設定監査

ベースライン (baseline) を構成する設定項目の単体もしくは集合体が特定の標準や特定の要求を満足しているかどうかを確認する為に実行される監査。（「audit 監査」と「configuration item 設定項目」も参照のこと）

configuration baseline：設定承認基準

製品もしくは製品構成物の、耐用期間中のある時点において公式に定義された設定情報。

（「product lifecycle 製品ライフサイクル」も参照のこと）

設定ベースラインに、設定ベースラインからの承認された変更を加えたものが、現在の設定情報を構成している。

configuration control：設定制御

設定管理（configuration management）の要素の 1 つであり、設定項目に対する設定識別を公式に確定（establishment）させた後での、設定項目に対する変更についての評価、調整（coordination）、承認や不承認、そして実行によって構成されている。

configuration control board：設定制御委員会

設定項目に対して提案された変更に対する評価や承認、不承認の権限と、そうして承認された変更の実行を保証する権限を持った人の集団。（「configuration item 設定項目」も参照のこと）

設定制御委員会は「変更制御委員会」としても知られている。

configuration identification：設定識別

設定管理（configuration management）の要素の 1 つであり、ある製品の為の設定項目の選択、選択された設定項目への固有の識別子の割り当て、そして技術ドキュメントへの設定項目の機能的・物理的特性の記録によって構成されている。（「configuration item 設定項目」、「configuration management 設計監理」、そして「product 製品」も参照のこと）

configuration item：設定項目

作業成果物の集合体であり、設定管理（configuration management）の為に設定され、そして設定管理プロセス（configuration management process）の中で単一の実体として扱われているもの。（「configuration management 設定管理」も参照のこと）

configuration management：設定管理

以下の事に対する、技術上・管理上の指示・監視を適用した統制（discipline）。

- (1) 設定項目の機能特性と物理特性の識別とドキュメント化
 - (2) そうした特性に対する変更の制御 (control)
 - (3) 変更プロセスと実行状態の記録と報告
 - (4) 特定の要求を順守しているかどうかの確認
- (「configuration audit 設定監査」、「configuration control 設定制御」、「configuration identification 設定識別」、「configuration status accounting 設定状態処理」も参照のこと)

configuration status accounting：設定状態処理

設定管理(configuration management)の要素の1つであり、設定を効率的に管理(manage)する為に必要となる情報の記録と報告によって構成されている。

(「configuration identification 設定識別」、「configuration management 設定管理」も参照のこと)

この情報には、承認された設定のリスト、設定に対して提案された変更の状態、そして承認された変更の実行状態が含まれている。

defined process：定義プロセス

組織のカスタマイズガイドラインに従って、組織の標準プロセスセットをカスタマイズして作られた、運用管理されているプロセス(managed process)。プロセス記述は維持管理され、そしてそのプロセス関連の経験が、組織のプロセス資産に寄与している。(「managed process」も参照のこと)

deliverable：引渡成果物

取得者か、もしくはある同意によって指定された受領者に対して供給されるアイテム。このアイテムはドキュメント、ハードウェアアイテム、ソフトウェアアイテム、サービス、もしくはその他の作業成果物(work product)が当てはまる。

delivery environment

derived measure：関数尺度

基準尺度の値を2つ以上持つ関数(function)として定義された尺度。〔「base measure 基準尺度」も参照のこと〕

derived requirement：派生要求

顧客要求には明確に言及はされていないが、以下のどちらかが暗示されているもの。

- (1) 文脈上の要求(適切な標準、法律、政策、共通慣習(common practice)、管理決定等)
- (2) 製品やサービスのコンポーネントを明確にするために必要となる要求

example work product：作業成果物例

特定プラクティスの出力例を提供する、情報モデルコンポーネント

functional analysis：機能分析

- ・その機能を完成させるために必要なすべての従属機能(subfunction)を識別するために行われる定義された機能の調査
 - ・機能的関係性とインターフェース(内部・外部)の識別と、機能構成内にあるこうした関係性とインターフェースの発見
 - ・高位階層での要求の流下(flow down)と高位要求を低位階層の従属機能への割り振り
- (〔functional architecture 機能構成〕も参照のこと)

functional architecture：製品機能構成

機能と、機能の内部と外部(機能そのものの集団に対して)の機能的インターフェースと外部物理的インターフェース、それら個々の機能の要求や設計制約を、階層構造で表したもの。

(〔architecture 製品構成〕、〔functional analysis 機能分析〕、〔definition of required functionality and quality attributes 要求された機能・品質属性の定義〕も参照のこと)

generic goal：一般大目標

あるプロセス領域を実行する(implement)プロセスを制度化する為に無くてはならない特徴(characteristics)を記述した、必須のモデルコンポーネント。(〔institutionalization 制度化〕も参照のこと)

generic practice：一般プラクティス

関連した一般大目標の達成において重要だと考えられている、期待されたモデルコンポーネント。

ある一般大目標と関連した一般プラクティスは、一般大目標の達成に必要とされ、プロセス領域に関係するプロセスの制度化に寄与する活動について記述している。

generic practice elaboration：一般プラクティス詳細説明

一般プラクティスの後に出てくる、一般プラクティスがどのようにして、あるプロセス領域に対して一意的に適用され得るかについてのガイダンスを提供する、情報モデルコンポーネント。

institutionalization：制度化

ある組織が、その集団文化の一部として繰り返し従っている、慣習化した (ingrained) 仕事のやり方。

managed process：管理プロセス

ポリシーの下で計画・実行され、制御された出力物を生成するのに十分なリソースを持つ技能者を雇用し、利害関係者を巻き込み、監視され、制御され、批評され、そのプロセス記述に一致しているか評価された、稼働プロセス。（「performed process 稼働プロセス」も参照のこと）

nontechnical requirement：非技術的要求

製品・サービスの獲得や開発といった、製品やサービスの特性ではないものに作用する要求。非技術的要求の例としては、引き渡される製品やサービスの数や、引き渡された汎用部品（COTS）や非開発アイテムのデータ権利、引き渡し日、そして終了基準の入った節点（milestones）、といったものがある。それ以外にも、訓練や場所提供（site provisions）、展開日程（deployment schedule）と関連した作業制約がある。

objectively evaluate：客観的評価

批評者による主観と偏見を最小化した基準によって、活動や作業生成物を批評（review）すること。

客観的評価の例として、独立した品質保証機能によった要求や標準、手続きを基に行われる監査がある。

organization's business objectives：組織のビジネス中目標

ある組織の存続を保証し、組織の利益や市場シェア、組織の成功に影響するその他の要因と
いったものを強化する、上級管理者（senior management）の立てる中目標。（「quality and
process performance objectives 品質とプロセス効率の中目標」、「quantitative objective 量的
中目標」も参照のこと）

organization's set of standard processes：組織の標準プロセスセット

ある組織での活動を誘導するプロセスの定義を集めたもの。

このプロセス記述は、基盤となるプロセス要素（と、命令やインターフェースと言った要素
間の相互関係）を網羅しており、プロジェクトやワークグループ、組織内の作業で実行され
る定義プロセスへと組み入れられるべきである。

標準プロセスによって、組織内での首尾一貫した開発活動と維持活動が可能となり、長期間
にわたる安定と改善をもたらす。（「defined process 定義プロセス」と「process element プ
ロセス要素」も参照のこと）

performed process：稼働プロセス

作業成果物の作成に必要な作業を成し遂げたプロセスである。プロセス領域の特定大目標
は満足されている。

process area：プロセス領域

ある領域に関連したプラクティスの集団（cluster）であり、それらのプラクティスをまとめ
て実行すると、その領域において改善を行うために重要であると考えられている大目標の
セットを満足させるもの。

process description：プロセス記述

与えられた目的を達成するために実行される活動のセットを、文書で表現したもの（documented expression）。

プロセス記述は、プロセスの主要な構成物の運用定義を提供する。

プロセス記述は、完全で正確で照明可能な手法を用いて、プロセスの要求や設計、挙動、その他の特徴を明記している。プロセス記述には、こうした規定（provisions）が満足されているかどうかを決定する為の手続きが含まれていることもある。プロセス記述は活動やプロジェクト、ワークグループ、組織レベルで用いられている。

process element：プロセス要素

あるプロセスの基盤となるユニット。

プロセスは、サブプロセスもしくはプロセス要素の言葉を用いて定義することが出来る。サブプロセスは、それ以上サブプロセスやプロセス要素へと分解できないプロセス要素である。（「process プロセス」と「subprocess サブプロセス」も参照のこと）

個々のプロセス要素は、厳密に関係した活動のセットをカバーしている（例：見積要素、査読（peer review）要素）。

462

「プロセス」と「サブプロセス」、そして「プロセス要素」は階層構造を構成している。一番上が「プロセス」で、最も一般的な用語である。そしてその下には「サブプロセス」、そして「プロセス要素」は最も具体的（most specific）である。

process group：プロセスグループ

組織で使用するプロセスの定義、維持管理、改善を促進する専門化の集団。

product：製品

顧客やエンドユーザーに対して引

464

product baseline

product >>> product component

製品 製品構成物

product <<< work product

製品 作業成果物（プロセスの有用な出力物）

work product >>> deliverable

作業成果物 引渡成果物

product component：製品構成物

製品の下層を構成している作業成果物。（「product 製品」と「work product 作業成果物」も参照のこと）

製品構成物は統合されることで製品となる。製品構成物が複数階層を構成することもある。

「product 製品」と「product component 製品構成物」という用語が使用されているプロセス領域を通して、2つの用語の意図された意味もまた、サービスやサービスシステム、サービスやサービスシステムの構成物を含んでいる。？

CMMI Product Suite では、この用語は標準的な英語の意味とは異なった特別な意味を持っている。

product component requirements

product lifecycle

product line

product related lifecycle process

product requirements

relevant stakeholder：関連利害関係者

特定の活動に関わっていると識別されており、かつ計画に参加しているステークホルダー。
（「stakeholder 利害関係者」も参照のこと）

requirement management：要求管理

組織によってプロジェクトやワークグループに課せられた（levy）要求だけでなく、プロジェクトやワークグループによって受領もしくは作成された、技術的要求と非技術的要求の

両方を含む全ての要求を管理すること。

(「nontechnical requirement 非技術的要求」も参照のこと)

requirement traceability：要求追跡可能性

要求と、それに関連した要求や実行 (implementations)、検証との間にある、識別可能な関係。(「bidirectional traceability 双方向追跡可能性」と「traceability 追跡可能性」も参照のこと)

specific goal：具体的大目標

そのプロセス領域を満足する為に無くてはならない独自の特質 (characteristics) を記述した、必須のモデルコンポーネント。(「capability level 能力レベル」、「generic goal 一般的大目標」、「organization's business objectives 組織のビジネス中目標」、「process area プロセス領域」も参照のこと)

specific practice：具体的プラクティス

関連する具体的大目標を達成する際に重要であると考えられている、期待されたモデルコンポーネント。(「process area プロセス領域」、「specific goal 具体的大目標」も参照のこと)
具体的プラクティスは、あるプロセス領域にある具体的大目標の達成に必要であると期待されている活動を記述している。

stakeholder：利害関係者

ある仕事 (undertaking) の結果に対して、影響を受けるか責任を持つ、集団もしくは個人。

(「customer 顧客」と「relevant stakeholder 関連利害関係者」も参照のこと)

利害関係者は、プロジェクトや作業集団のメンバー、供給者、顧客、エンドユーザー等を含んでいる。

この用語は、CMMI Product Suite においては、通常の言語の意味とは異なった特殊な意味を持っている。

supplier：供給者

(1) 取得された製品の供給や、取得されたサービスの実施を行う存在

(2) 取得者と、アイテムの設計、開発、製造、保守、改良、供給について、契約の下に合

意した、個人や協力者、会社、法人、協会等の存在。

(「acquirer 取得者」も参照のこと)

supplier agreement：供給契約

取得者と供給者との間で交わされた、ドキュメント化された契約。(「supplier 供給者」も参照のこと)

target profile：小目標特性

プロセス領域と、それに対応した、プロセス改善の為の中目標を表現している能力レベルのリスト。(「achievement profile 達成特性」、「capability level profile 能力レベル特性」も参照のこと)

target staging：多段化小目標

組織によって辿られるプロセス改善の進路を記述した、一連の小目標特性。(「achievement profile 達成特性」、「capability level profile 能力レベル特性」、「target profile 小目標特性」も参照のこと)

traceability：追跡可能性

2つ以上の、要求やシステム要素、検証 (verification)、任務 (task) といった論理実体の間に存在する、識別可能な関係 (association)

unit testing：ユニットテスト

個々のハードウェアもしくはソフトウェアのユニット、もしくは関連するユニットのグループのテスト。(「acceptance testing 受領テスト」も参照のこと)

work product：作業成果物

プロセスの有用な結果。

この結果には、ファイルやドキュメント、製品、製品の部品、サービス、プロセス記述 (process descriptions)、仕様書、請求書 (? 送り状、invoice) などがある。作業成果物 (work product) と製品構成物 (product component) との決定的な違いは、作業成果物は最終的な製品

(product) の一部である必要が無いということである。(「product 製品」と「product component 製品構成物」も参照のこと。

CMMI モデルにおける「work product 作業成果物」にはサービスが含まれているが、議論でサービスが含まれていることを強調する為に「work products and services 作業成果物とサービス」というフレーズを使用することがある。